

(仮称) 広島西ウィンドファーム事業を受け入れない件について

安芸太田町は、中国山地の懐に抱かれた自然豊かな町です。その小さな町に、日本最大級の風力発電施設を建設したいという提案があり、町内では様々な議論が起きました。

計画受け入れの判断にあたり、町としても4回にわたる意見交換会や意見募集等を行い、町民の声をお聞きしてまいりました。

私としても、再生可能エネルギーの必要性や、地域活性化の重要性を否定するものではありませんが、

- とりわけ予定地周辺住民の不安は大きく、今後、本計画への理解が深まったとしても、当該地域住民の不安が払拭できない場合、果たして我慢を強いながら進めるべき事業なのか
- 当該計画予定地は、地質・地形的に大変不安定な場所を含んでおり、地域住民の安全と安心を考慮し、先人が禁伐区として開発を禁じてきた地域である。例え今後、安全・安心を考慮した計画を提案されたにしても100%の保証はあり得ない。ここ最近の自然災害を踏まえても、先人の定めたルールをあえて破ってまで進めるべき事業なのか
- これら様々な不安や懸念を乗り越えるには、例えば本計画が本町にとって必要不可欠な事業である等、相当の理由を要するのではないかと

といった点を考慮した結果、本事業は本町にとって必要不可欠なものではないと判断するに至り、また今後時間をかけたとしても、上記懸念を払拭するのは困難と考え、このタイミングで受け入れができない旨を事業者にお伝えすることといたしました。

私は、今回の議論を通じ、出来る限り今ある自然と調和を図っていく手法が、町民の考える「自然を活かした町づくり」であることを再確認しました。私たちが大切に思う太田川源流域の豊かな自然を守りながら、我々のみならず、流域に暮らす多くの方々の命を支え、かつ訪れた人たち全てを元気にする、そんな町を、町民一丸となつてつくりあげてまいります。

2021年7月16日

安芸太田町長

橋本 博明